

教室と学校図書館の両方で読書に活用しました。

茨城県日立市立中里小学校

利用セット「カナダ・アメリカ 小学校高学年向」

利用時期 平成 27 年 10 月 27 日～12 月 15 日

中里小学校の高島多美子先生に伺いました。

Q 学校図書館セット貸出しを申し込まれた理由を教えてください。

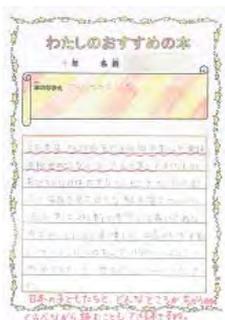
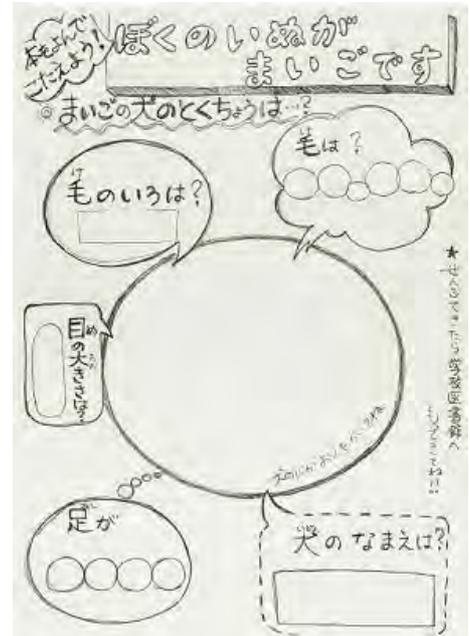
A 学校図書館にある本だけでなくさまざまな本に触れてもらえる良いチャンスだと思い、申し込みました。

Q どのように活用されましたか？

A 学年ごとに選んだ本を教室に置きました。

その中から児童たちがおすすめの 1 冊を選んで、読書郵便を書きました。

学校図書館内では、展示を行いました。それと合わせて、全学年を対象にセットの本を利用したクイズを行いました。正解した児童には、しおりや切り絵などのプレゼントを用意しました。



Q 工夫した点、苦労された点はありますか？

A 小学校高学年向けのセットでしたが、セットの中から各学年に合わせた本を選び、自由に手に取って読んでもらえるように教室に置きました。児童たちが書いてくれた読書郵便は、学校図書館の廊下におすすめ本として掲示しました。

クイズでは、全学年が楽しく参加できるように、絵で表現するものなども取り入れました。限られた貸出期間の中で、子どもたちに

関心を持ってもらえるようにする工夫が難しかったです。

Q 児童たちの反応はいかがでしたか？

A 学校図書館にはない本が多かったので、子どもたちは興味を持っていました。クイズに挑戦するために、どの本も手に取って広げていました。友達と一緒に原書と邦訳書を比べながら読む姿が印象に残っています。

教室と学校図書館の両方で読書に活用しました。

国際子ども図書館学校図書館セット貸出し 活用事例



Q セット貸出しを利用する学校にアドバイスがあればお願いします。

A 児童数の多い学校では難しいかもしれませんが、学校図書館に展示するだけでなく教室に回して置いておけると児童は手に取って読みやすいと思います。また、実践例にさまざまな活動が載っているので、参考にすると子どもたちの読書利用の手助けになると思います。

(2016年2月)